

# 令和6年度 競技注意事項

## 1. 競技について

- (1) この競技会は、2024年度陸上競技連盟規則並びに、本大会申し合わせ事項によって行う。
- (2) 競技場は全天候型舗装につき、スパイクシューズを使用してもよい。その場合、スパイクピンの長さは7mm以下とする。厚底シューズの使用は制限しない。裸足での競技は危険防止の観点から禁止とする。
- (3) 選手は規定のアスリートビブスを、胸と背につけること。但し、走幅跳・走高跳は前だけでも良い。またすべてのトラック競技の選手は写真判定のために腰ナンバーカードを右腰やや後方につける。
- (4) 短距離種目において3年生以下の選手は、スタンディングスタートも可とする。(2021年変更)  
4年生以上の短距離種目はスターティングブロックを使ったクラウチングスタートとする。(2021年変更)
- (5) 100m以下のトラック種目は予選をおこない、プログラム記載の方法で決勝進出者を決定する。  
80mH・800m・1500mについてはタイムレース決勝とする。  
50m・100mの予選の場合、同タイムが2名の場合は、決勝は1レーンを使用し9名で行う。3名以上の場合は抽選とする。ただし、同組で同タイムの場合は、着順優先とする。抽選は選手の呼び出し後、5分以内に完了する。
- (6) 800m・1500mはオープンレーンとする。
- (7) リレー種目に出場するチームは、受付封筒に入っているオーダー用紙に必要な事項を記入し、第1組目の招集完了1時間前までに本部受付オーダー用紙提出所まで提出する。決勝進出チームは本部受付で決勝用のオーダー用紙を受け取り、招集完了1時間前までに本部受付オーダー用紙提出所まで提出する。
- (8) 80mHは、5・6年生男女共通であり、次のとおりとする。

ハードルの高さ	第1ハードルまで	ハードル間	最終ハードルからゴール	台数
70cm	13m	7m	11m	9台

- (9) 走幅跳の試技は、全員が3回とする。計測は、踏切板を越えるとファールとする。
- (10) 走高跳は「はさみ跳び」でマットへの着地は足裏からとする。背・胸からの着地は無効試技とする。  
走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。  
(練習 95cm) 100cm 105cm 110cm 115cm 120cm 125cm 130cm 以後3cmあげ  
1位決定後の上げ方は、本人の希望による。  
同一の高さへの挑戦は3回とする。1回の試技時間は1分を超えないこと。
- (11) ジャベリックボール投はNISHI社のジャベボールを使用する。練習は全員が2回、試技は全員が3回とする。
- (12) トラック競技のスタートの合図については全国大会ルールに合わせてイングリッシュコマンド (ON Your Mark・Set・Go)で行う。～2018年変更

## 2. 招集について

招集点呼は次のとおりとする。(ただし雨天の場合、トラック種目は招集所とする)

- ▶トラックはスタート地点にて、競技開始時刻の20分前に開始し10分前に完了する。
- ▶リレー種目は招集所にて、競技開始時刻20分前に開始し10分前に完了する。
- ▶フィールド種目は現地にて、競技開始時刻の30分前に開始し20分前に完了する。

点呼後は、その場に待機すること。選手が種目をかねてやむを得ない場合に限り、代理人の点呼を認める。

リレーのみ招集所は、正面スタンドの室内(北側)とする